

春に贈るメッセージ

ラジオネーム：ヘッドバンカー

今年も春が来たから、2日間だけ函館に戻りました。

家の庭のあちこちにお父さんの植えた

チューリップやパンジーがあるのを見つけました。

どんな事を思っただけ植えたのか考えると隣にお父さんがいるようです。

水仙もいろんな所に植えたんですね。

私が「花の中で水仙が一番好き」と言ったのを

覚えていてくれたからでしょうか。

花が好きで、釣りが好きで、賭け事もせず、

病気がわかってからはタバコを止め、お酒も飲まず、

お小遣いも家族のために使い、

最後の入院をする日まで働いて、お父さんは幸せでしたか？

何を思い出してもお父さんは笑っていらぬのよ

まこと幸せだったんですよ。そう思わせたくたわろ。

友達には

「アノまじは生まれながら」と言いつつたまじですが

私達には何も言いませんでしたね。

お父さん70歳までまだ3年もありますよ。少し早くないですか。

お父さんの友人が同じ病気で亡くなった時、

その奥さんが余りにさっぱりした様子だったので

「女性はこんなにも冷たいものか」と漏らしていましたね。

残念ながらあなたの家族は毎日涙に暮れています。泣かない日はありません。

お父さんが残してくれた人の絆が私達を支えています。

ありがとうございます。お父さん。

わがままな娘でした。ごめんなさい。

立派な父親でした。

お父さんとお母さんの娘で良かった。

### リクエスト曲

（ 心の色 / 中村 雅俊 ）